

株主の皆様へ

第111期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

確かな技術で
未来をひらく
— 変革と挑戦 —

 **愛知電機株式会社**
AICHI ELECTRIC CO., LTD.

証券コード：6623

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第111期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

事業の概況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いていたものの、米中貿易摩擦の長期化や消費税引上げの影響を受け、力強さを欠く状況で推移しました。また、年度末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で、個人消費や生産を中心に急速に悪化しました。

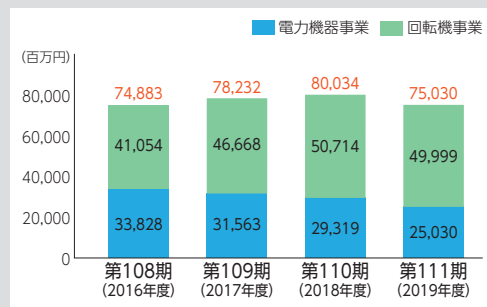
当社グループの経営環境につきましては、電力機器事業では再生可能エネルギーの普及拡大を背景に配電系統高度化機器の需要が堅調でしたが、PCB含有変圧器の取替特需が終了したことや価格競争が激化したことにより、厳しい状況と

なりました。回転機事業では、中国経済の減速で電機・電子業界が生産調整を行った影響を受けて、プリント配線板などの需要が低調に推移しました。

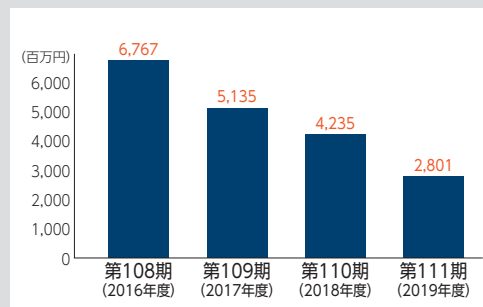
このような環境下、当社グループは「中期経営計画2023 確かな技術で未来をひらく～変革と挑戦～」の1年目として、既存製品の収益確保と将来の成長に向けた基盤づくりを進めてきました。電力機器事業では、配電系統高度化機器の開発・市場投入を進めるとともに、トップランナー変圧器など一般産業向け製品の拡販に注力してまいりました。また、小型変圧器工場のリニューアル、TPSかいぜん活動や温水ボイラの内製化など、生産力強化に向けた取組みを進めてまいりました。回転機事業では、車載用ハーメティックモータとパッケージコアの生産ライン増強に取組むとともに、各種モータやアクチュエータなどの顧客開拓に努めてまいりました。

当期の連結業績につきましては、柱上変圧器やプリント配線板の売上が落ち込

売上高 750億円



営業利益 28億円



んだことにより、前期比で減収減益となりました。売上高は前期比6.3%減の750億3千万円、営業利益は前期比33.9%減の28億1百万円、経常利益は前期比31.9%減の33億6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12.0%減の27億3千5百万円となりました。

配当について

期末の配当金につきましては、1株につき45円とさせていただきます。これにより、中間配当金を加えた通期の配当金は、1株につき90円となります。

今後の見通し

当社グループを取巻く経営環境におきましては、電力機器事業では電力会社において配電系統高度化が進む一方で、設備の延命化やリユースなど託送コスト低減に向けた動きが強まることが予想されます。回転機事業では次世代自動車やAI・IoTの利用拡大を背景に車載用モーターやプリント配線板の需要拡大が期待されますが、新型コロナウイルスの感染影響の長期化による需要低迷が懸念されます。

こうした中、当社はこの4月にハーメティックモータの製造・販売を行っている子会社のアイチエック株式会社を合併し、運営体制を電力カンパニーとモータカンパニーからなる社内カンパニー制といたしました。また、7月にはモータ関連の製造子会社である白鳥アイチエック株式会社と恵那愛知電機株式会社を合併することといたしました。この体制の下、効率的な事業運営とモータ事業の開発・生産・品質の一層強化を図り、中期経営計画の目標達成を目指してまいります。

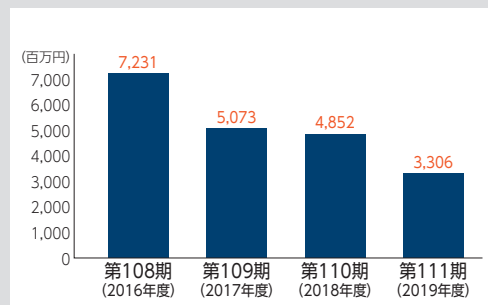
株主の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

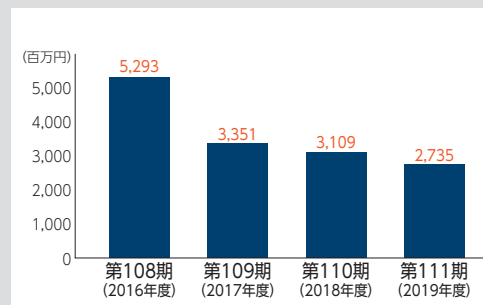
代表取締役社長

佐藤 徹

経常利益 33億円



親会社株主に帰属する当期純利益 27億円



事業別の概況

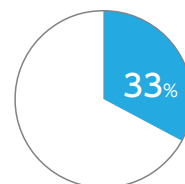
■電力機器事業

売上高250億円

事業内容

各種電力用変圧器、電力用保護制御装置、再生可能エネルギー関連装置など電力機器の設計・製造および海外での変電所プラント工事を通じ、電力インフラを支えています。

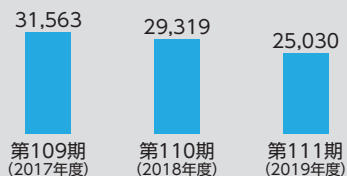
売上高構成比



当期の概況

売上高は前期比14.6%減の250億3千万円、セグメント利益は前期比41.9%減の23億9千万円となりました。配電線用自動電圧調整器や一般産業向けトップランナー変圧器が好調でしたが、柱上変圧器とプラント工事の売上が前期を大幅に下回りました。

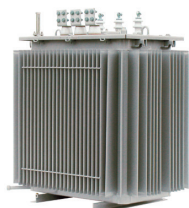
売上高推移(単位:百万円)



主要製品



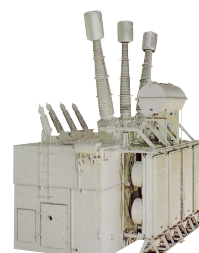
柱上変圧器



トップランナー変圧器



自動電圧調整器



負荷時タップ切換変圧器



デジタル式保護制御装置



パワーコンディショナ



プラント工事

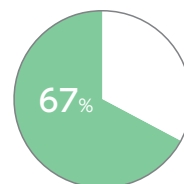
■回転機事業

売上高499億円

事業内容

電動ベッド用アクチエータ・駆動用制御装置、エアコン用ハーメティックモータなどの各種小型モータ、プリント配線板、シャッター開閉機など、身近で活躍する製品を社会に提供しています。

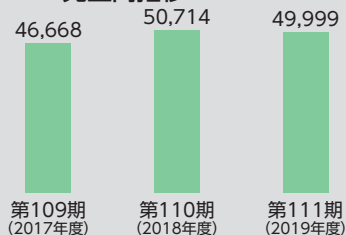
売上高構成比



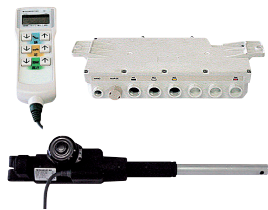
当期の概況

売上高は前期比1.4%減の499億9千9百万円、セグメント利益は前期比15.2%増の19億1千7百万円となりました。売上につきましては、プリント配線板が前期を下回る状況が続きました。セグメント利益につきましては、売上高が減少しましたが、販売構成の変化や材料費のコストダウンなどにより、前期を上回る結果となりました。

売上高推移(単位:百万円)



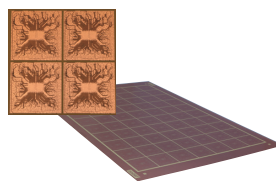
主要製品



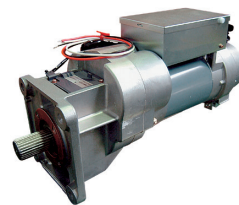
アクチエータ・駆動用制御装置



ハーメティックモータ



プリント配線板



シャッター開閉機



温水ボイラ



粉体混合機・乾燥機



畜舎用換気扇・コントローラ

決算の報告

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在	負債純資産の部	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在
流動資産	61,719	64,885	負債の部		
固定資産	26,966	25,270	流動負債	25,783	28,518
有形固定資産	16,906	15,241	固定負債	8,506	7,962
無形固定資産	337	182	負債合計	34,289	36,481
投資その他の資産	9,722	9,847	純資産の部		
			株主資本	52,322	50,556
			その他の包括利益累計額	977	1,687
			非支配株主持分	1,095	1,430
			純資産合計	54,395	53,674
資産合計	88,685	90,156	負債純資産合計	88,685	90,156

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	前 期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
売上高	75,030	80,034
売上原価	65,293	68,706
売上総利益	9,736	11,327
販売費及び一般管理費	6,935	7,091
営業利益	2,801	4,235
営業外収益	706	819
営業外費用	201	203
経常利益	3,306	4,852
特別利益	94	19
特別損失	25	325
税金等調整前当期純利益	3,375	4,546
法人税、住民税及び事業税	882	1,149
法人税等調整額	△ 300	246
当期純利益	2,792	3,149
非支配株主に帰属する当期純利益	56	39
親会社株主に帰属する当期純利益	2,735	3,109

個別貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在	負債純資産の部	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在
流動資産	30,743	30,975	負債の部		
固定資産	21,823	23,290	流動負債	9,727	12,356
有形固定資産	6,929	7,221	固定負債	3,377	2,440
無形固定資産	40	48	負債合計	13,105	14,797
投資その他の資産	14,854	16,020	純資産の部		
			株主資本	38,792	38,377
			評価・換算差額等	670	1,090
			純資産合計	39,462	39,467
資産合計	52,567	54,265	負債純資産合計	52,567	54,265

個別損益計算書

(単位:百万円)

	当 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	前 期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
売上高	31,946	34,964
売上原価	27,021	28,564
売上総利益	4,924	6,399
販売費及び一般管理費	3,777	3,912
営業利益	1,147	2,487
営業外収益	621	582
営業外費用	122	64
経常利益	1,646	3,005
特別利益	93	18
特別損失	6	317
税引前当期純利益	1,733	2,706
法人税、住民税及び事業税	497	818
法人税等調整額	△ 34	36
当期純利益	1,270	1,851

トピックス

電力機器事業

110kV級トラック型国内最大容量移動用変圧器車を納入

110kV級トラック型では国内最大容量の12MVA移動用変圧器車を開発し、中国電力(株)殿へ納入しました。

本製品は、変圧器タンクにアルミ合金を採用して総質量20トン以下に軽量化を図り、道路通行の際の特殊車両通行手続きを不要とし、機動力を高めました。これにより、自然災害などで変電所が故障し送電が停止した際、すぐに現地に駆けつけ、迅速な送電復旧に貢献します。



電力機器事業

遠隔制御型のサイリスタ式高圧自動電圧調整器 (A²-TVR(※)) の開発

従来のA²-TVRに遠隔制御と計測機能を付加した遠隔制御型のA²-TVRを開発しました。

本製品は、遠隔地から電圧・電流情報の取得が可能となり、さらにリアルタイムで整定値変更ができるようになりました。これにより、配電自動化システムとの組み合わせで配電線全体の電圧を適切に制御することができます。

今後も製品の高機能化研究を進め、電力品質の向上に貢献する製品を開発していきます。



(※) Aichi Advanced-Thyristor type step Voltage Regulator

電力機器事業

距離保護継電装置の開発

送電障害時の電力系統の保護に活躍する距離保護継電装置を開発しました。

本製品は、発電所から変電所に電気を送る高抵抗接地系統(154kV、77kV以下)で送電障害などが発生した際、本装置から障害発生地点までの距離を算出して、確実かつ迅速に障害発生区間を切り離し、停電エリアを最小限に抑えます。また、製品の信頼性を高めるため、保護リレーユニットを二重化しました。これにより、1つの保護リレーユニットが故障した場合に別の健全な保護リレーユニットで障害発生区間を切り離し、電力系統を保護します。

今後も電力の安定供給に必要な装置の開発を進め、電力会社を中心に装置のPRを進めていきます。



電力機器事業

電力用並列コンデンサ保護継電装置の開発

電力用並列コンデンサ(SC※)が故障した場合に、SCを電力系統から切り離す保護継電装置を中部電力パワーグリッド(株)殿および(株)シーテック殿と共同で開発しました。この装置は、あらかじめ設定したタイムスケジュールでSCを入切制御する機能をもっています。汎用型の保護・制御リレーユニットを採用することで、小型化と低コスト化を実現しました。

(※) SC=Static Condenserの略。高圧・特別高圧等に使われるコンデンサ。力率の改善や電圧の調整に使われる。



電力機器事業

誘導発電機用コンバータの開発

バイオマス発電事業向けの誘導発電機用コンバータを開発し、販売を開始しました。

本製品は、誘導発電機の交流出力を直流に変換します。その直流電流を当社製パワーコンディショナと組み合わせ電力系統に連系することで、発電システムの構築が容易となりました。このシステムは系統連系を開始する時にソフトスタートすることにより、発電機の長寿命化を図っています。

本装置は、バイオマス発電事業者殿において、本年8月に初稼働する予定です。



電力機器事業

サーバ集中型広域連係サーバ装置の開発

中部電力(株)殿の配電自動化システムにおけるサーバ集中型の広域連係サーバ装置を開発しました。今回の開発目的は、サイバーセキュリティの向上、保守メンテナンスコストの削減、被災時のシステム可用性の向上です。従来は電力会社殿の各支社に分散配置されていましたが、本装置の設置により1箇所で管内全域をカバーできるようになりました。



電力機器事業

エジプト・アラブ共和国 太陽光発電設備工事

エジプト日本科学技術大学構内に太陽光発電設備を建設しています。当社は、発電設備全体のシステム設計、建物の構造設計と設備設計、パワーコンディショナ等の電気機器の設計と製作、工事部材の調達、現地での建築工事と電気工事および現地調整試験まですべて行っています。

これは、日本政府の無償支援による「太陽光を活用したグリーンエネルギー導入計画」の一環です。大学構内3か所に総発電量560kWの太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を大学構内の施設に供給します。



回転機事業

石油ファンヒーター用クマトリモータの新生産ライン

石油ファンヒーター用クマトリモータの新生産ラインを設置し、生産を開始しました。これにより、年間48万台生産することが可能になりました。本ラインではモータの巻線、組立から検査までを一貫して行います。

今後も、新たな需要に応えるとともに、設備の改善や増強を実施し、更なる品質および生産性の向上に努めていきます。



会社概要・株式の状況

■会社概要 (2020年3月31日現在)

愛知電機株式会社 AICHI ELECTRIC CO., LTD.

設立年月日 1942年5月27日
資本金 40億53百万円
従業員数 840名(連結:2,349名)
本社所在地 〒486-8666
愛知県春日井市愛知町1番地
電話 0568-31-1111

■役員の状況 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	佐藤 徹
常務取締役	小林 和郎
常務取締役	宮川 利之
取締役	山下 直治
取締役	田島 久嗣
取締役	高橋 順一
取締役	垣原 正樹
取締役	須田 芳和
取締役	加藤 忍
取締役(社外)	天野 望
取締役(社外)	瀬尾 英重
常勤監査役	細江 秀喜
監査役(社外)	片岡 明典
監査役(社外)	堀 雅寿

■株式の状況 (2020年3月31日現在)

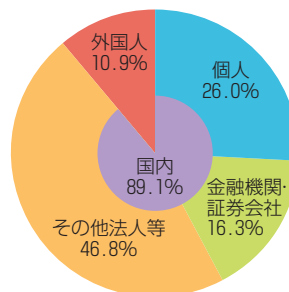
発行可能株式総数 23,912,200株
発行済株式の総数 9,500,000株
株主数 5,791名

大株主(上位10位)

	持株数(千株)	出資比率(%)
中部電力株式会社	2,326	24.5
TSUCHIYA株式会社	646	6.8
古河電気工業株式会社	565	5.9
ピー・イー・フォー・フィデリティ・ロー・プライズ・ストック ファンド(アリンパル・オール・セクター・サブポートフォリオ)	319	3.3
株式会社三菱UFJ銀行	312	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	303	3.1
株式会社川口興産	200	2.1
光通信株式会社	186	1.9
明治安田生命保険相互会社	175	1.8
ノーザン・トラスト・カンパニー・エイブイエフシー リ・フィデリティファンズ	173	1.8

注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
注2. 出資比率は自己株式(4,235株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 名古屋市中区栄三丁目15番33号
照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.aichidenki.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、名古屋市において発行する中日新聞に掲載して行います。

1 単元未満株式（100株に満たない株式）の 買取・買増制度のご案内

ご所有の1単元未満株式を当社に買取または買増請求できる制度があります。ご希望の株主様は下記「各種お手続きのお申し出先」にお申し出ください。

各種お手続きのお申し出先

（お名前・ご住所の変更、単元未満株式の買取・買増等）

証券会社に口座を開設されている株主様

→お取引先の証券会社にお申し出ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様

→三井住友信託銀行にお申し出ください。

未払い配当金の支払について

三井住友信託銀行にお申し出ください。

確かな技術で未来をひらく — 変革と挑戦 —

よい物を創る、よい人を創る、よい関係を創る、価値ある会社

 **愛知電機株式会社**
AICHI ELECTRIC CO., LTD.

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。